

記載例

様式第1号

鯖江市長 殿

日付は空欄にしてください。

平成31年 月 日

住所(所在地) 鯖江市〇〇町△△-□
(名称) 〇〇会
氏名(代表者氏名) 会長 〇〇 □□ 印

市民提案による参加と協働のまちづくり事業
まちづくり基金事業補助金交付申請書

団体の印鑑(団体の印鑑がない場合には、代表者の印鑑)を押印ください。

平成31年度市民提案による参加と協働のまちづくり事業まちづくり基金事業について、補助金の交付を受けたいので、市民提案による参加と協働のまちづくり事業まちづくり基金事業補助金交付要綱第7条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 申請事業名 高齢者と子どものふれあい交流事業

申請額は、別紙「補助金申請額計算書」に基づき記載します。

2 補助申請額 金 107,000 円

3 添付書類

- ① 事業計画書(様式第2号)
- ② 収支予算書(様式第3号)
- ③ 団体概要書
- ④ 団体の規約等
- ⑤ 団体の前年度収支決算書
- ⑥ その他市長が必要と認める書類

③、④、⑤は総会資料等で同等の書類があるときは、替わりに添付できます。

次の様式第2号では、事業内容、スケジュール等を記載します。(応募要綱P4 審査のポイントもご参照ください。)

記載例

様式第2号

審査の評価項目を記載しています。

事業計画書

事業を始めようとしたきっかけ・背景は？

1 事業の目的

公益性・市民ニーズの把握

3年前、休日に市内全域の子どもを預かる活動を始めたが、利用者が少なく、むしろ高齢者在住世帯から高齢者預かりの問い合わせが年々増加しており、何故増えているのか疑問に感じた。

市内の現状がどのようになっているか把握する為、国勢調査で調べたところ次のことがわかった。

① 70歳以上の鯖江市人口がH30/H25年度比で、1,325人（14%）増加している。

② 65歳以上の親族のいる同居世帯は8,654世帯で世帯構成が3人以下は4,567世帯で54%に達している。

対象（人/物）の現状は？データがあるとわかりやすい

③ 平成30年4月現在鯖江市では65歳以上の単身者数1,715人（H26比 145人増）

高齢者人口の増加や市内に高齢者だけの家庭等が多数あり、高齢者を抱える家族の不安が預かりの要望がある理由ではないかと考えた。

対象（人/物）のおかれている課題は？

そこで、お年寄り自身やお年寄りを抱える市民が安心して暮らせるまちづくりのために、共働き家庭の子どもを預かるだけでなく、地域の高齢者の居場所づくりを実施する。なお、今年度はお年寄り向けの講習会等の実施を行い、私たちの活動を周知し、また老人会、地区民生員との連携を図るよう進める。

2 事業の概要

課題をどのようにすることが目的ですか？

申請事業名称 **高齢者と子どものふれあい交流事業**

(1) 申請回数 **1回目**

(2) 部 門 **みんなでまちづくり部門**

事業の準備から完了まで記載しましょう

注意：各費用は4月以降の費用が補助対象になります。

年間スケジュール

計画性

時 期	内 容	場 所 ・ 人 数 等
4月、5月 6月	広報の準備、交流サロン準備、広報活動開始 ひとりで家にいるときのそなえかた（生活編）	町内公民館 常駐スタッフ2名+シフト4名 地区公民館 講師1名 スタッフ3名、民生員1名 参加40名
7月、8月 9月	ラジオ体操への参加（呼びかけ） ひとりで家にいるときのそなえかた（災害編）	町内公民館 スタッフ 全員 地区公民館 講師1名 スタッフ3名、民生員 参加40名
10月、11月	冬にむけての健康増進教室	町内公民館 講師1名 サロン スタッフ全員 参加40名
1月～3月	町内の節分参加（町内版おじい・おばあのおはなし） 年度反省会（次年度の運営方法・活動費等）	町内公民館 スタッフ4人 サロン スタッフ全員 参加者20名
定例	6月以降 高齢者と子どものふれあいサロン おじいちゃん、おばあちゃんのお話（月1回） 月1回定例打合・反省会	町内公民館 スタッフ4名 講師 1名×10回 サロン スタッフ全員

記載例

様式第2号

皆さんが工夫したことを教えてください。

チャレンジ性または独創性・先駆性、連携性 萌芽性

自団体の会員だけで行うのではなく、他団体でメンバーが交代制（約10名）で実施することで、今後の運営に広がりを持たせることができる。

また、民生委員や老人会との連携を図ることで、町内会とは異なる方法で地域に貢献することが出来る。

この事業により団体にとってどのような成長が見込まれますか

発展性・継続性

サロン参加者（子どもと高齢者）からのアンケート結果を次年度につなげていく。また、サロン参加者の家庭や余暇のある方々にも参加してもらえよう研修会も開催し、担い手づくりをすすめる。また、需要があれば定例的な交流サロンを実施したい。

3 当該事業に関する、他の団体に対する補助申請または補助申請予定の有無

○

補助申請先 △△財団 申請額 50,000円

無

複数の助成金を受けている場合には、その全ての補助金について記入します。

次の様式第3号では、費用に対する計画性・効率性、自立性を教えてください。

記載例

様式第3号

収支予算書

計画性・効率性 自立性

摘要欄には、積算基礎を記入します。

収入の部

区 分	本年度予算額 (円)	摘 要
当該事業を実施したことによる収入 (c)	30,000	サロン参加者会費 1,000円/年×30人
自己負担金	28,000	〇〇会から
市からの補助金	107,000	まちづくり基金事業
他団体からの補助金等 (d)	50,000	△△財団助成金
計	215,000	

摘要欄には、支出の内訳を記入します。

支出の部

	区 分	本年度予算額 (円)	摘 要
補助対象経費	賃 金		
	報 償 費	80,000	講師謝礼 3人×10,000円 30,000円 10人×5,000円 50,000円
	需 用 費	100,000	消耗品費 50,000 (消耗品) 40,000 (サロン紹介用チラシ作成)
	役 務 費	20,000	郵便代 20,000 (利用者への案内文 送付費用)
	委 託 料		
	使用料および貸借料	15,000	公民館利用料 1,500円×10回
	小 計 (b)	215,000	
補助対象外経費			
	小 計		
	合 計 (a)	215,000	

支出区分は、募集要項の2ページを参考に記入してください。

(a) (b) (c) (d)の金額を、「補助金申請額計算書」に記載しましょう。

記載例

市民提案による参加と協働のまちづくり事業

まちづくり基金事業補助金申請団体概要書

1 団体名	〇〇会
2 代表者	氏名 (フリガナ) 会長 〇〇 □□ (マルマル シクシク) 住所 (916-****) 鯖江市〇〇町△△ - □ TEL **** (**) **** FAX **** (**) **** E-Mail *****
3 事務所等の所在地 (代表者と同じ場合は「同上」と記載)	住所 (916-) 同上 TEL FAX E-Mail
4 連絡責任者 (代表者と異なる場合に記入)	氏名 (フリガナ) 住所 (916-) TEL FAX E-Mail
5 団体の設立年月日	平成〇〇年□□月△△日
6 会員数	正会員 〇〇人、その他会員 □□人 団体への加入条件 (条件がある場合に記入) 特にありません。
7 団体の活動目的	地域における子育て支援を目的としていますが、今年度から家庭全体への生活支援に寄与していきます。
8 団体の主な活動	子供を対象にした野外観察体験や、農業体験など様々なイベントの開催
9 主な活動の範囲	〇〇地区を中心に活動
10 団体の今後の展開	(申請事業終了後の事業展開など、今後の団体活動の方向を記載ください。) これまでの子供を対象にした活動に、高齢者との交流が加わることで、地域全体の活動に重点を置いていく。
11 その他	(活動の実績、団体で重視していることなどを記載ください。) 集まりやすいサロンを実施するため、各自町内行事等できるだけいろんな方と話できるようにしています。

主に補助金の書類に関する
ことについてお問い合わせ
させていただきます。

記載例

(その他市長が認める書類)

補助金申請額計算書

※ 補助金の交付申請額を算出する際に、この用紙を御利用ください。

1 申請事業名 高齢者と子どものふれあい交流事業
(みんなでまちづくり 部門)

2 補助金交付申請書の3枚目(様式第3号)を見てください。
その表の中に、(a)、(b)、(c)、(d)と書かれた枠があります。その枠の数値をもとに、下記の表をうめてください。

	補助対象事業に要する経費(a)	215,000円
	補助対象経費(b)	215,000円
A	補助対象経費(b)×補助率(1/2)	107,000円
	当該事業によって得られる収入(c)	30,000円
	他団体からの補助金等(d)	50,000円
B	(a) - (c) - (d)	135,000円
C	補助限度額	300,000円

(千円未満切捨)

※ 補助率 (チャレンジまちづくり部門 4分の3)

(みんなでまちづくり部門 2分の1)

※ 補助限度額 (チャレンジまちづくり部門 100,000円)

(みんなでまちづくり部門 300,000円)

※ A、B、Cのうち、最も低い額が補助申請額です。
(千円未満切捨)

補助率の確認を！
総事業費20万円
以上は「みんなで
まちづくり部門」で
す。

C欄は、チャレンジま
ちづくり部門では10万
円、みんなでまちづくり
部門では30万円と記載
します。

3 補助申請額 金 107,000円

記載例

〇〇会 会則

(名称)

第1条 本会は、〇〇会と称する。

(目的)

第2条 本会は、〇〇〇…… ……〇〇〇〇ことをもって、△△△…… ……△△△に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

(1) 〇〇〇…… ……〇〇〇

(2) 〇〇〇…… ……〇〇〇

・

・

その他、会で定める
事項を記載します。

(*) その他、本会の目的の達成に必要な事業

(事務所)

第4条 本会の事務所を〇〇〇…… ……〇〇〇〇に置く。

(会員)

第5条 本会の会員は、第2条の目的に賛同するものをもって会員とする。

(役員)

第6条 本会に下記の役員を置く。

(1) 会長 1人

(2) 副会長 〇人

・

・

その他、会で定める
事項を記載します。

(*) 会計 〇人

2 役員は、会員の互選により総会で選出する。

3 役員の任期は〇年とし、再任を妨げない。欠員による役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第7条 会長は本会を代表し、会を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代理する。

・

・

* 会計は本会の経理事務を担当する。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および〇〇会とする。

2 総会および〇〇会は、会長が召集し、議長となる。

(総会)

第9条 総会は、次のことを協議し、議決する。

(1) 本会の規約の制定および改正

(2) 事業計画の決定

(3) 予算の決定および決算の承認

(4) 役員を選出

(5) その他重要事項の決定

2 総会は、年1回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時総会を開催することができる。

3 総会の議決は、出席会員の過半数で決する。議決が同数のときは議長が決する。

(会計年度)

第10条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌3月31日とする。

(経費)

第11条 本会の経費は、会費、寄付金およびその他の収入をもってあてる。

2 前項の会費の額は、年額〇〇〇〇円とする。

・

・

その他、会で定める
事項を記載します。

附 則

本会則は、平成**年**月**日から施行する。

この会則が、総会等で承認された日
または適用を開始した日を記載します。